



「好きよ」と言っていますか



みなさんの家庭では、こどもに、「あなたのこと大好き」と言っておられますか？こどもから、お父さん、お母さんに「お父さん、好き」「お母さん、好き」と言ってもらっていますか？そして、お父さん、お母さんがお互いに「好き」と言っておられますか？

「恥ずかしくて言えない」という方も多いのでしょうか。でも、その「好き」という言葉は家族が仲良く、明るく過ごせるための魔法の言葉なのです。

年齢に関係なく

人間にとって一番 悲しくて 淋しくて 苦しいことは

好きになった人から

「好きよ」と言ってもらえないことです

お父さんが元気が無いのは

「好きよ」とお母さんが言わないからです

お母さんが悲しい顔をしているのは

「好きよ」とお父さんが言わないからです

子どもたちが淋しいのは

「好きよ」とお父さんとお母さんが言わないからです

人間にとって一番 うれしくて 楽しくて 幸せなことは

好きになった人から

「好きよ」と言ってもらったときです

みんなの目が輝いてきます

「好きよ」というひと言は

どんな高価な金品でも代用できるものではありません

「心がやすらぐ 魔法のことば」 山崎房一 P H P 文庫

今日から、家庭内で「好きよ」という言葉がけを実践しませんか。家庭の雰囲気が和やかになること間違いなしです。

「仲良きことは美しき哉」という言葉を聞かれたことがあるでしょうか（作家 武者小路実篤さんの名言。「互いを尊重し、協力し合うこと、異なる価値観や考え方を認め合い、それでいて仲良くする大切さ」を意味する）。私たちは、日々活動する中で多くの人に出会い、「生まれ」「育ち」「考え方」「価値観」が違う人と接していますが、互いに違いを認め合うことにより楽しく活動できたり、仕事がうまくいったりするのです。そのような違いを乗り越えるものは何でしょうか。それは、相手を理解し、相手を大切にするという気持ちを持ち、その気持ちを相手に伝えることです。その一番の方法は、「あなたのことが好きよ」という言葉を相手に伝えることなのだと思います。

最近、耳にしたくないいやな事件、事故が増えています。日本の社会全体でこの「好きよ」という言葉が行き交うようになれば、心が安らぐ社会になるのだと思います。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村